備考

右表にあらはれたる平均及割合は

一、一争議参加人員数は平均三三二名　一件平均卅七日　延人員二、〇九九一名

二、争議成績は有利六割八分、妥協一割八分、不利一割四分

三、争議發生原因別とすれば組合圧迫八、待遇維持及改善八、解雇及工場閉鎖及対六、計二二となるも其の多くは工場主側の組合に対する不理解及極端なる組合否認的態度に其の端を發せるもの多く。組合の必要性を認める工場に於ては多く交渉のみに依つて解決して居るのである。

争議に至らざりし事件は無数である

加盟組合関係労働学校一覧　昭和三年七月現在

学校	人員	期間	学科及講師	組合
日本労働学校 東京芝区三田四国町 校長　鈴木文治 主事　木村盛	50名	毎週4日 1ケ年	社会問題概論　安部磯雄 経済学　松下芳男 政治学　今中次麿 経済史　山崎広 社会学　重広虎雄 社会運動史　山崎一雄 臨時講演 労働組合論　斎藤健一 労働法制　松永義雄 進化論　未定 経済政策　亀井貫一郎 工場管理法　小山寿夫 労働運動　赤松克麿	東京聯合会
埼玉公民労働学校 埼玉県川口町栄町三丁目 校長　松永義雄 主事　井堀繁雄	80名	毎週5日 1ケ年	社会問題概論　重広虎雄 経済学　松下芳男 商業政策論　神田金次郎 財政学　小幡清金 労働組合運動史　木村盛 労働婦人問題　赤松常子 労働法制　松永義雄 労働組合論　原虎一 実用数学　野村 工場衛生　〃 語学 冶鉄術	東京鉄工組合
神奈川労働学校 川崎市砂川通り五九 校長　三木二郎 主事　穂積正毅	100名	毎週3日 6ケ月	社会学　重広虎雄 政治学　亀井貫一郎 労働組合論　土井直作 労働法制　片山哲 経済学　石川準十郎 労働運動発達史　赤松克麿	神奈川聯合会